

クローズアップ

CLOSE UP



秋の夜空に祈りの花火

11月23日に、前橋花火大会を無観客で開催。打ち上げの様子は、群馬テレビで放映されました。今回は、利根川河畔で1,500発を打ち上げ。例年に比べ規模は縮小したものの、新型コロナウイルス感染症の収束を祈願するとともに、来年の花火大会へ思いをつなげました。

朔太郎の詩など作品化

前橋文学館で1月16日(日)まで開催する企画展「ああ これはなんという美しい憂鬱だろう ムットーニのからくり文学館」。萩原朔太郎の詩などを題材にしたからくり人形作品を展示中です。関連イベントでは独自の世界観で表現する作品を、武藤政彦さん本人が解説しました。



とび職人の伝統文化を後世に

昨年、前橋鳶工業組合の組合長に就任した齋藤さん。同組合や派生組織・前橋伝統文化保存会、華粋会は、前橋まつりや初市まつり、消防隊出初式などで、木やりやはしご乗り、まとい振りを披露してきた。「組合は100年以上も昔からあって、伝統文化を代々受け継いできました。はしご乗りは、地上7層の高さで決める技の派手さや美しさが魅力です。私が若い頃は、若鳶会という若手の集まりで稽古しました。当時20人程度いた集まりも、近年は後継者不足で2〜3人程度まで減りました」

年には木やり・はしご乗り・まとい振りが市の重要無形民俗文化財に指定された。「以前の出初式では、県の鳶組合の若鳶会から他市の人が来て、はしご乗りを披露しました。残念ながらもう既に、前橋の人だけでできる状況ではないんです」

果たして10年後、伝統を残せているのだろうか、強い危機感を抱いているという。「とび職に限定せず、異業種の人や日本の文化が好きなのにも参加してもらおうなど、門戸を開いて担い手を増やす段階にきたのではないかと思います」

古くから続く歴史を途絶えさせまいと、齋藤さんらは大きな転換期を迎えている。



「男は仕事、女は家庭」という考え方については、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた割合が約70%に達しています。その結果の一部を紹介いたします。

本市では、現状の市民意識や行政に対するニーズを把握するとともに、本年度に策定予定の次期前橋市男女共同参画基本計画の参考資料とするため、昨年9月に男女共同参画に関する市民意識調査を実施しました。

無作為に抽出した市内在住の満18歳以上の男女3,000人に調査票を郵送。1,181人から回答がありました。その結果の一部を紹介いたします。

このコーナーでは同誌の記事の一部を紹介いたします。今回は男女共同参画に関する市民意識調査の結果です。

前橋市男女共同参画情報誌

しんじゅ

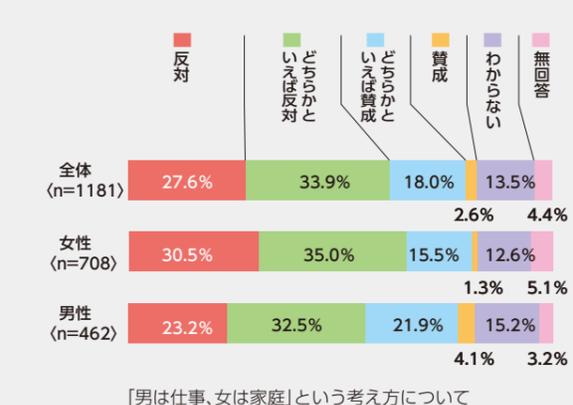
新樹

Vol.4 男女共同参画に関する市民意識調査結果

男女共同参画センター

☎ 027-898-6517

ミニコラム



合は、全体で61.5%。性別で見ると女性65.5%、男性55.7%で、女性が9.8ポイント上回っています。

この結果から、固定的な性別役割分担に反対する意見が多いもの、その意識は依然として残っていること、特に男性で根強いことがうかがえます。「男女共同参画は、個人に特定の生き方を押しつけるものではなく、女性のみならず男性についても生き方の幅を広げるものである」ということを理解することが大切です。

調査結果は本市ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



旬な農産物や生産者を紹介するこのコーナー。今回は、上州牛まえばしです。

養豚が盛んなことで知られる本市。肉用牛の生産も盛んで、その産出額は県内1位(※)を誇ります。そこで前橋市農業協同組合とJA前橋市肉牛肥育部会は、「まえばし産牛肉」の地域ブランド化に向けた取り組みとして、まえばし畜産物ブランド推進協議会を設立。平成29年に上州牛まえばしを定義しました。

上州牛まえばしは、部会員が生産した上州牛のうち、牛の脂肪に含まれるオレイン酸の割合が高く、より厳しい肉質等級基準をクリアした牛に与えられる名称です。その品質の高さから、本市推奨赤城の恵ブランド認証品にも認証されています。オレイン酸には血中の中性脂肪やコレステロールを低下させる効果があることが知られています。

レステロール量を調整する働きがあり、オレイン酸を多く含む肉は、口に入れたときに脂肪が溶けやすく柔らかい食感になるとされています。

現在、市内ではJAファーマーズ朝日町・朝倉町やAコープみやぎ店で購入できます。シンブルに肉の美味しさを味わえるステーキや焼き肉、この時期にぴったりのすき焼きなどで、年末年始は上州牛まえばしの口どけを堪能してみてください。



農政課 ☎ 027-898-5841



絶品の肉に舌鼓

このシールが目印 赤城の恵認証マーク部分は新マークに変更予定

上州牛まえばしについて詳しくはこちら

※令和元年市町村別農業産出額(推計)から